

# 藤谷ゼミってどんなゼミ？

藤谷ゼミは去年から発足したまだまだ歴史の浅いゼミです。ゼミ室も西館3階にあり、他のゼミとは離れた場所で行われています。また藤谷先生が作業療法士でない、先生合わせて3人という少ないゼミということも含めて特殊なゼミかもしれません。

はじめに藤谷先生について紹介します。藤谷先生は毎日自身の研究や他の学科の講義の用意で時間を追われている先生でもあります。先生のスケジュールを見てアポを取っておかないと中々先生と会えない…なんてこともあります。ですが、藤谷先生は忙しい中、一研究者として私たちゼミ生の研究をご指導してくださいました。作業療法士としてではない目線から私たちの研究に沢山の疑問を述べてくださったおかげで、「疑問を持つ」ことの大事さを改めて学ぶことが出来ました。また自分の研究に合った内容の研究雑誌や論文を紹介してくれました。もっともっと積極的に先生に相談すれば自分の知らない論文を紹介してもらえたかもしれません。

次はゼミ全体の雰囲気について紹介します。ゼミ生と先生とで変に緊張することもなく、雰囲気としては自分なりの研究が出来ればよい、という空気でした。他のゼミはどうか分かりませんが、藤谷ゼミでは常に先生とゼミ生が全員集合し、先生からだけでなく、ゼミ生からの質問を受けることもありました。そのため、私達ゼミ生は互いの研究の進み具合を見ることで不安になることも少なく穏やかに研究に取り組むことが出来たと思います。

最後に、藤谷先生のすごいところを書いていきたいと思います。

それは私たちゼミ生の考えを理解し、そこから一つ上の考えに辿り着けるように導いてくれるところです。私達がまだ自分たちの中でまとめきれてないことを要点だけ拾って小さくまとめた上で「私達が何を言おうとして、そこからどうしたいのか」を一緒に考えてくれました。いつもまとめることに時間がかかってしまっていた私達はそこから先のことに重点を置いて、時間をかけて考えられるようになり、時間も大きく短縮できたと思います。

作業療法学科6期生 A.Y

